

作家 関口尚氏(平成 11 年人文科学研究科修了)第22回坪田譲治文学賞を受賞

岡山市名誉市民の坪田譲治の業績を称え、創作活動の奨励と市民文化の向上とを目的とした「坪田譲治文学賞」の第22回受賞作として、茨城大学大学院人文科学研究科を修了した作家 関口尚氏の「空をつかむまで」が選ばれました。この文学賞は9月1日を基準日として前一年間に刊行された文学作品を対象とし、“大人も子どもも共有できる優れた作品”に毎年授与されています。

文理・人文学部同窓会では、平成20年7月5日(土)に関口尚氏をお招きし、講演会「茨城での日々」を開催しました。この講演会は、文理・人文学部同窓会第9回総会開催を記念して行われたものです。

ご自身よりも年長の聴衆が多い中で、関口氏もやや緊張した様子でしたが、在学していた頃とすっかり変わった茨大周辺の様子を始めとして、在学していた頃を懐かしみながら、水戸との関わりを中心に語られました。

今も雑誌などに連載を数本抱えて活躍されている中、作家として常日頃「書く」ということ一とにかく毎日言葉で表現することを欠かさないとというプロとしての一面ものぞかせていました。



関口尚氏略歴：

昭和47年9月生まれ

平成7年 岩手大学人文社会科学部卒業

平成11年 茨城大学大学院人文科学研究科言語文化専攻修了

平成14年 『プリズムの夏』で第15回小説すばる新人賞受賞

平成19年 『空をつかむまで』で第22回坪田譲治文学賞を受賞。

他に『あなたの石』(平成16年、集英社)、
『そのままの光』(平成18年、光文社)、
『シグナル』(平成19年、幻冬舎)などがある。

